

中川 賢一 Ken'ichi Nakagawa



©Shinichiro Saigo

桐朋学園大学音楽学部でピアノを専攻し、同時に指揮も学ぶ。卒業後渡欧し、ベルギーのアントワープ王立音楽院ピアノ科最高課程、特別課程をそれぞれ優秀、首席の成績を収め修了。在学中にフォルテピアノ、チェンバロも習得。1997年オランダのガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。ハダースフィールド音楽祭(イギリス)、ガウデアムス音楽祭(オランダ)、グアナファト音楽祭(メキシコ)、サウンド・フェスティヴァル(カナダ)をはじめ、ベルギー、パリ、ベネズエラ、韓国など世界各地の音楽祭に出演する他、ドイツ、フランス、スイス、スペイン、ポルトガル、ハンガリー、オランダ、米国、中国、ニューカレドニア、エストニアなど世界各地で演奏活動を行う。

1998年帰国後はソロ、室内楽、指揮で活動。新作初演も多い。NHK-FM「ベストオブクラシック」「名曲リサイタル」「現代の音楽」「クラシック倶楽部」などに出演し、様々なオーケストラとも協演している。サントリー・サマーフェスティバル、東京の夏音楽祭、武生国際音楽祭などの音楽祭に度々参加。スヴェトリン・ルセフ(vn)、シュテファン・フッソング(acc)、イエルーン・ベルワルツ(tp)、マヌエル・ブランコ(tp)、ファブリス・ミリシェー(tb)、バーバラ・ハンニガン(sop)、サラ・マリア・ズン(sop)等と共演。

夏木マリ「印象派」シリーズに連続出演、音楽監督も行う他、故・頼近美津子、伊藤ひろ子、平野文らの朗読と音楽や、伊藤キム、山田うん、白井剛、KATHY、森下真樹、新井英夫、中村恩恵、東野祥子、田畑真希、セレノグラフィカ、上村なおか、楠原竜也、カサヤマリコ等のコンテンポラリーダンサーやタップダンサーの熊谷和徳との共演など、他分野とのコラボレーションも多い。「Just Composed in Yokohama 2003」、「超難解音楽祭」(仙台)音楽監督・プロデュースなどを行う。2016年トヨタコレオグラフィアワード(次代を担う振付師の発掘のコンテスト)にて審査員を行う。

現代曲の分野では、メシアンピアノ曲全曲演奏、ジョン・ケージ「ソナタとインターリュード」、フレデリック・ジェフスキー「不屈の民変奏曲」、リュック・フェラーリピアノ作品集演奏会、武満徹ピアノ曲全曲等数多くを演奏し、各方面から好評を博す。また、クラングフォルムウィーン、ムジークファブリーク、アンサンブルルシェルス、アルテルエゴなどを指揮、アルディッティカルテットやバーバラ・ハンニガン、アンサンブル・モデルンなど、現代を代表する演奏家と共演した。

指揮者としては、東京室内歌劇場においてフィリップ・グラスの「流刑地」、パウル・ヒンデミットの「往きと帰り」、マイケル・ナイマンの「妻を帽子と間違えた男」などの現代オペラを指揮。また、芥川也寸志作曲、オペラ「ヒロシマのオルフェ」では広島交響楽団と共演。東京フィルハーモニー交響楽団とは、2010年タップダンサーの熊谷和徳との共演及び、2012年東日本大震災後被災地での慰問演奏で指揮をした。2011年しらかわホールにてマラー作曲「交響曲第9番」(瀬尾和紀編曲)を指揮。2015年仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演。東京フィルハーモニー交響楽団では“ドクトル中川”の名前で、ピアノ演奏とトークで様々な曲のアナリゼを展開他、札幌交響楽団、水戸室内管弦楽団、NHKテレビ「名曲探偵アマデウス」、朝日カルチャーセンター、日仏文化協会バレーセミナーでも、様々な対象へアナリゼを行っている。



©Shuhei NEZU

アニメーション監督 故・宇井孝司氏と、音楽を聴きながら参加者にイメージを描いてもらった絵をアニメーション化するコラボレーションも展開し、現在、ムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」やストラヴィンスキーの「春の祭典」等の作品を発表している。

2002年から一般財団法人地域創造の公共ホール音楽活性化事業の登録アーティストとして国内各地でアウトリーチ、ワークショップやコンサートを行う一方、「神楽オペラ」(大分県豊後大野市)、「アワビ伝説」(宮城県七ヶ浜町)、「愛の歌」(沖縄県名護市)、「わが街深川」「異色のコラボ」(北海道深川市)など地元参加型の舞台作品制作などに指揮者・編曲者として携わる。

現代音楽を初めて聞く方へのレクチャーコンサート、ワークショップも積極的に行い現代音楽の普及にも務めている。子供向けのプロジェクトも多く、未就学児参加可能の演奏会、幼児向けの音楽会のプロデュースも数多く行っている。2001年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。

現在、アンサンブル・ノマドのピアニスト・指揮者。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。

ホームページ <http://www.nakagawakenichi.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/nakagawa.kenichi.96>

ブログ、ツイッター随時更新！

PR 動画 DVD



非売品
PR 動画 DVD はお送りできません
下記にお問い合わせください

DISCOGRAPHY



中川賢一ピアノリサイタル vol.1



中川賢一ピアノリサイタル vol.2



トランペット・テールズ
イエルーン・ベルワルツ (トランペット) 稲垣聡 (ピアノ) & 中川賢一 (ピアノ)



ジョン・ケージ
THREE DANCES FOR TWO PREPARED PIANOS
他、多数リリース。

中川賢一所属事務所 プロアルテムジケ Tel.03-3943-6677

中川賢一に関する資料・お問合せ：emi-k@artsfrontiers.com Tel.090-8308-1758 担当 北山

Pianist / Conductor

中川 賢一

Ken'ichi Nakagawa

アイデア活きる多彩な活躍
変幻自在のマルチ・ピアニスト



©Shuhei NEZU

ピアノアウトリーチ&ワークショップ



ハンマーの仕組みや響板などピアノの構造のお話を、ピンポン玉やオルゴールを使ってわかりやすく説明！

ピアノワークショップ
「ふしぎがいっぱい！ピアノのひみつ」
(久留米シティプラザ)

子供の絵と音楽のコラボレーション

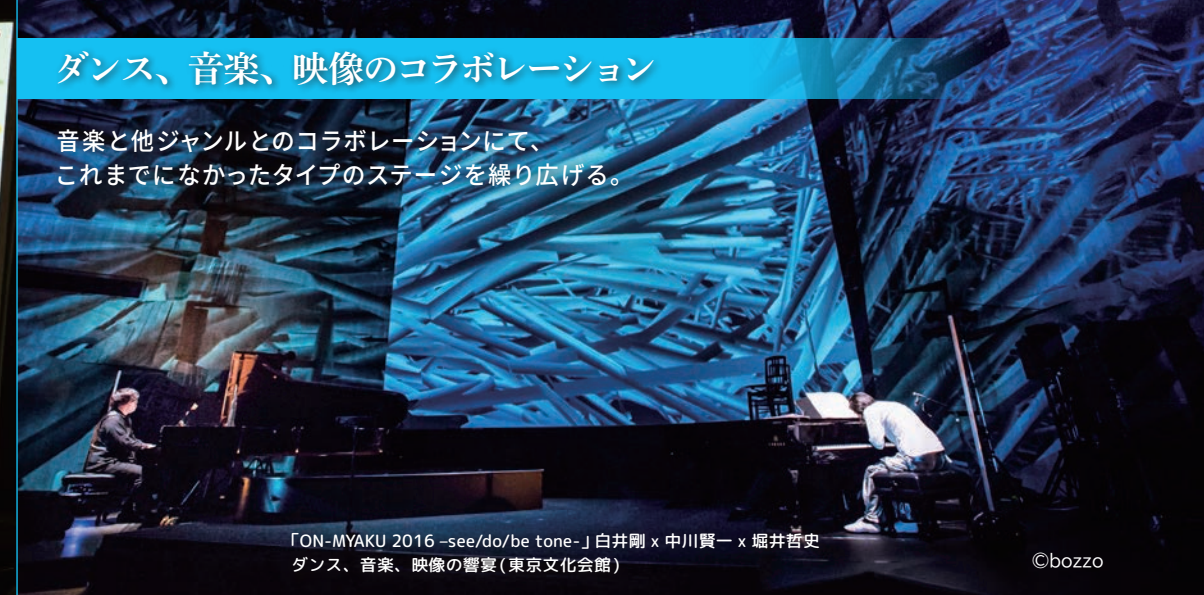
音楽を聞いて自由に子供が書いた絵をスクリーンに大きく投影して演奏とのコラボレーション
コンサートホールがミュージアムに大変身！



「無限のイマジネーション〜時空を超えて〜」
(武豊町民会館 ゆめたろうプラザ)

ダンス、音楽、映像のコラボレーション

音楽と他ジャンルとのコラボレーションにて、これまでになかったタイプのステージを繰り広げる。



「ON-MYAKU 2016 -see/do/be tone-」白井剛 x 中川賢一 x 堀井哲史
ダンス、音楽、映像の饗宴(東京文化会館)

©bozzo

ピアノアナリーゼ

音楽を分解して、ピアノ演奏を交えながら例やエピソードを交えて解りやすくお話しします。

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36

©Shinichiro Saigo

「アナリーゼ&コンサート中川賢一『不屈の民』変奏曲」
(サントミュージゼ)

中川賢一を アナリーゼする！ ピアノで縦横無尽！

親子のためのコンサート

「ファミリーコンサート」
(中新田バッハホール)



未就学児のための“はじめてのクラシック”。ピアノソロから編成の大きなものまでの「親子のためのコンサート」もアレンジ可能です！

絵本の読み聞かせコンサート



大好きな絵本をスクリーンに大きく投影。企画とマッチした音楽絵本をプロデュースします。



親と子のための読み聞かせコンサート
(調布市文化会館たづくりくすのきホール)
「わにわにのおでかけ」
(作：小風さち 絵：山口マオ 出版社：福音館書店)

様々な編成のプロデュース&コンサート



滅多にない編成のアンサンブルでも、主催者の意向に応じて自在にプロデュース！ これまでになかった世界を繰り広げます！

「5台ピアノの世界」
ピアノ・ツィルクス(白石光隆、田村緑、中川賢一、デュエットかなえ&ゆかり)
(リョーとびあ 新潟市民芸術文化会館)

ご当地伝統や伝統芸能による新しい創作舞台制作

「神楽オペラ(大分県豊後大野)」など伝統芸能、「あわび伝説(宮城県七ヶ浜)」などご当地伝説。「わが街深川(北海道深川)」は音楽と演劇で綴る音楽物語。



「わが街深川」(深川市文化交流ホール)

ライブペインティングと音楽のコラボレーション



ピアノ演奏中に音楽から受けるインスピレーションをライブでペインティング!!

©Shinichiro Saigo

「中川賢一 x 越ちひろ Colored by Debussy」
(上田市サントミュージゼ)

ピリオド楽器によるレクチャーコンサート

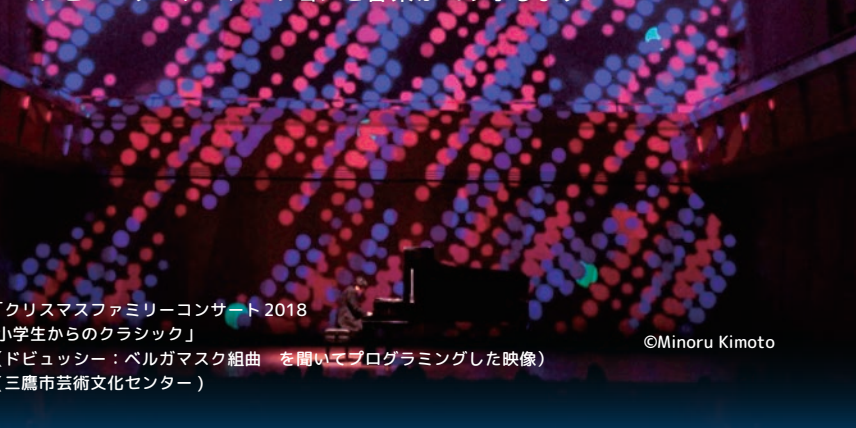
作曲家が生きていた時代の楽器を用いて、曲が生まれてきた秘密を探ります



「ブレイエルで綴るショパン」(タカギクラヴィア)

プログラミングソフトを使った映像との共演

子供がコンピューターソフト“Viscuit”を使ってピアノ演奏を聞いたイメージをプログラミング！コンピューターアニメーションと音楽がコラボします！



「クリスマスファミリーコンサート2018
小学生からのクラシック」
(ドビュッシー：ベルガマスク組曲 を聞いてプログラミングした映像)
(三鷹市芸術文化センター)

©Minoru Kimoto